

経営比較分析表（平成28年度決算）

山形県 戸沢村

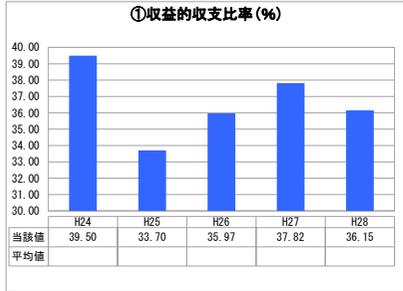
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	42.28	90.00	3,040

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,846	261.31	18.55
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,015	1.96	1,028.06

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



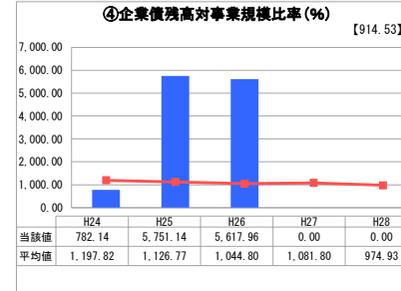
「単年度の収支」



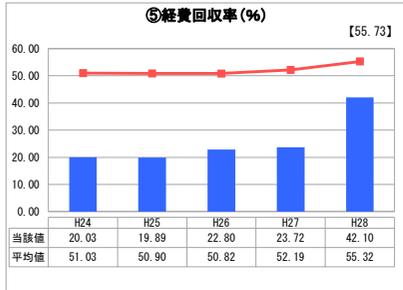
「累積欠損」



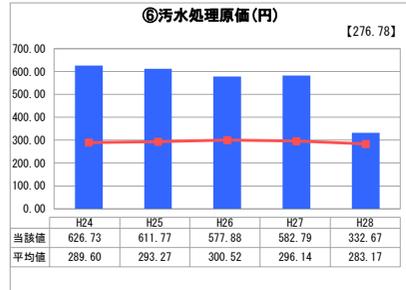
「支払能力」



「債務残高」



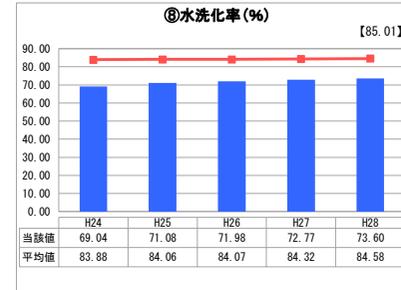
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

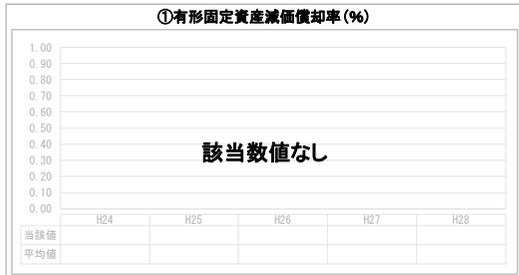


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

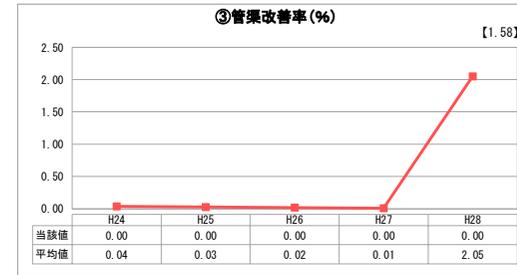
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

- ・料金算定について
 減額型料金方式となり使用量の増加につれ従量料金が低額となる。接続人口が少ないことから、料金収入だけをもって維持管理経費を賄うには至っていません。(H28年実績で使用料収入が歳入に占める割合は15.5%となっています。)
- ・企業債残高対事業規模比率について
 建設事業については概成しており、新たな企業債の発行はありません。
- ・経費回収率、汚水処理原価、施設利用率について
 接続人口が1,483人と少なく、施設利用率も高くはない。汚水処理原価については、前年を下回り300円代を記録しました。経費回収率についても前年より向上し42%ほどとなっています。改善が見られた原因としては、使用料収入については、ほぼ前年同額ではありますが、汚水処理経費について、対前年比10%ほどの縮減となっており、結果経費回収率、汚水処理原価が好転したものと考えられます。
- ・水洗化率について
 率としては僅かに上向しているものの余地はあり、今後とも水洗化率の向上を図ってゆきます。

2. 老朽化の状況について

- ・現在のところ耐用年数を経過した管渠については該当ありません。今後の課題として管渠の老朽化対策が必要になってくると考えられる、ストックマネジメント、長寿命化計画等を検討し計画的にライフサイクルコストの低減を図り最終的には最適化構想の策定を行いたいと考えます。

全体総括

引き続き人口減少に加えて、施設利用率の向上には期待の持てない現状にあります。使用料金収入だけでは、経営は成り立たず、一般会計繰入金により維持運営している状況にあります。(歳入に占める繰入金の割合は53.4%)また、企業債の償還財源として資本費平準化債の借入を起しています。(歳入に占める平準化債の割合は27.8%)
 今後の管渠の老朽化対策については、新規接続時の加入金を積立し将来に備えることとしています。指定管理者制度あるいは包括的委託の導入については、財政基盤等を考慮するにおいては、現状馴染まないと判断しています。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。